

サンコール株式会社（証券コード：5985）

# 個人投資家向けWEB説明会

2022.6.16

動画：個人投資家向けWEB説明会

# AGENDA



**I. 会社概要**

**II. 2022年3月期 決算概要**

**III. 2023年3月期 業績見通し**

**IV. 中長期の成長戦略**

# Purpose 技術をより良い世界のために

## 次世代事業への挑戦

将来

第二次成長期  
(電子情報通信分野への参入)

現ポジション

第一次成長期  
(自動車関連事業の確立)

創業期

1943年

創業

飛行機エンジン用  
弁ばねの開発製造を目的として、  
空爆のない京都で創業

ばね製造

戦中に潜水艦でドイツから運ばれ  
てきて軍の小倉工場にあったもの  
を譲り受けて生産



当時のコイルマシン  
(京都本社写真)

妥協は許さない  
いのちを乗せるものづくり



エンジン部品



ミッション部品



安全部品

需要は  
今後も拡大

独自の微細加工技術で  
世界のビックデータを管理する

ローラ



光コネクタ



HDDサスペンション



モータ・電気部品  
(EV製品)



環境・エネルギー新素材  
「竹炭」



医療・介護



**社名** : サンコール株式会社 SUNCALL CORPORATION

**設立** : 1943年6月

**資本金** : 48億8百万円

**本社** : 京都市右京区梅津西浦町14番地

**証券取引所** : 東京証券取引所 プライム市場

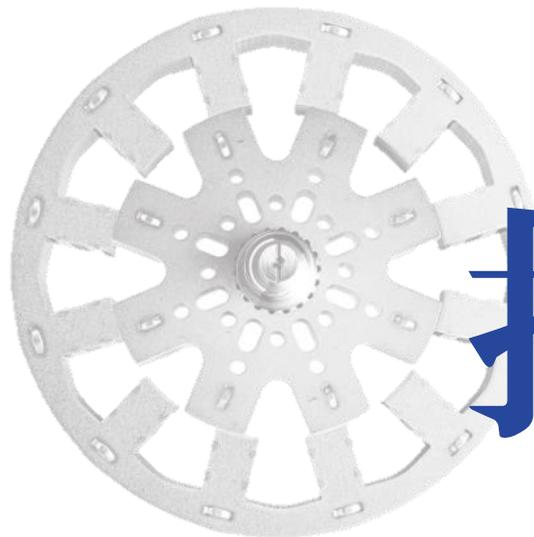
**従業員数** : 2,280名 (連結) 632名 (単体)

**主要株主** : 日本マスタートラスト信託銀行(株)  
(退職給付信託口・(株)神戸製鋼所口) 16.7%  
伊藤忠丸紅鉄鋼(株) 12.6%  
伊藤忠商事(株) 9.8%

(2022年3月末時点)

技術をより良い世界のために

# 技翔創変



サンコールは『技翔創変』という経営理念の基で企業の飛躍に邁進しております。

## 技翔

技術を飛翔させていくこと

特異な技術無くして、SUNCALLは存在し得ない

## 創変

変化を自分で作りだしていくこと

世の中の変化をリードし、創造していく

# 材料から加工まで一貫生産

材料関連事業・弁ばね用鋼線 精密異形線



一貫生産を支える当社の芯。数々の独自技術に展開するコア事業。安心・安全・高品質で新規領域へ

## ①弁ばね



国内シェアトップクラス。材料から加工まで一貫生産により、高品質、1億回の伸縮にも耐えられる高耐久性を実現。

## ②リングギア・ドライブプレート

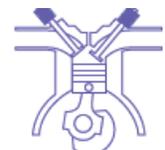


国内シェアトップクラス。独自の金属加工技術で高精度を実現。

## ③シートベルト用ゼンマイばね



材料から製造するため、精密なトルクの調節が行え、快適性を実現。

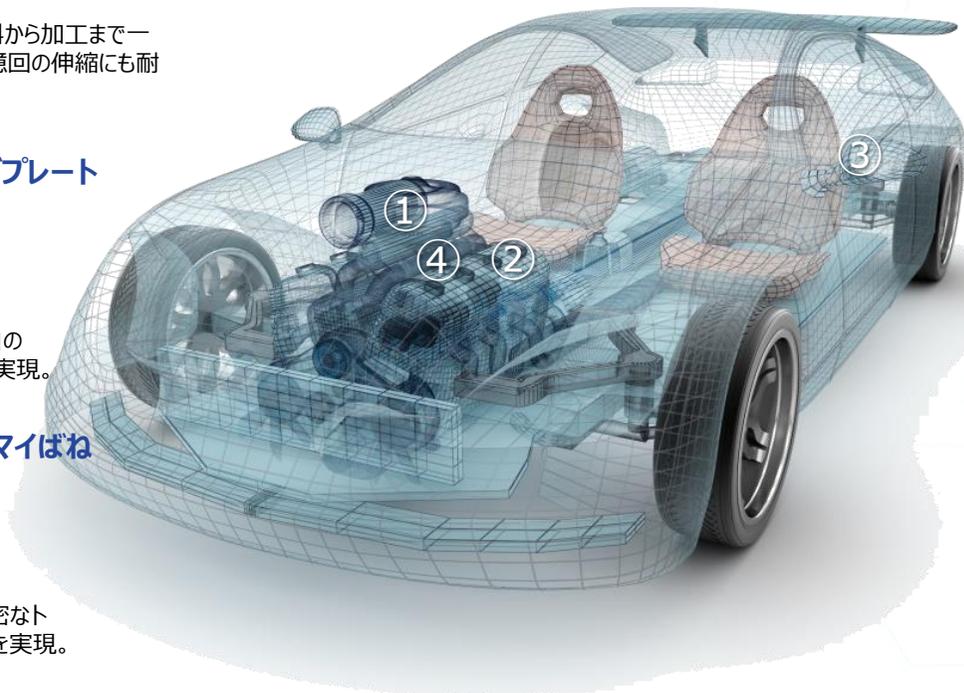


エンジン部品

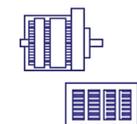


ミッション部品

安全部品



モーター・電気部品



## ④バスバー

ユニットの形状に合わせて個別に設計。これからの配線の主役。



## ④シャントonバスバー

電流を流しながら、電圧を測定できるという機能を盛り込んだ、バスバー一体型センサー。リチウムイオン電池のような大電流にも対応。



## ④シャントセンサー

シャントバスバーにセンサー基盤を設置した高性能次世代センサー



## ④モーターコア・ステーターコア

モーターの芯を構成する部品。当社は自動で一貫生産し、高い生産性を実現。



# データ社会を支えるキーデバイス

プリンター



プリンター関連製品

長尺・軽量・高精度シャフト  
供給によりW/Wトップシェア  
ローラー



トルクミッター  
スプリングクラッチ



HDD用サスペンション

HDD



HDD磁気ヘッドを、数十ナノメートル単位で位置決めする極限レベルの精度要求に対応

データセンター



通信関連製品

光コネクタ



光アダプタ



## 国内14拠点

本社	京都府京都市
<b>生産拠点</b>	
本社工場	京都府京都市
京都南工場	京都府京都市
豊田工場	愛知県豊田市
広瀬工場	愛知県豊田市
<b>国内子会社</b>	
サンコールエンジニアリング株式会社	山梨県南アルプス市
サンコール菊池株式会社	熊本県菊池市
<b>営業拠点</b>	
東京支店	神奈川県横浜市
名古屋支店	愛知県豊田市
西日本支店	京都府京都市
上田営業所	長野県上田市
北関東営業所	栃木県宇都宮市
浜松営業所	静岡県浜松市
近畿営業所	京都府京都市
西日本営業所	広島県広島市

## 海外7カ国15拠点

国	地域	出資比率	生産品目
アメリカ	インディアナ州	100%	弁ばね、リングギアほか
	サウスカロライナ州	100%	光通信部品（販売拠点）
	テキサス州	100%	
メキシコ	アグアスカリエンテス州	100%	弁ばね用材料、リングギア
	アグアスカリエンテス州	50%	シートベルト用ぜんまいばね
中国	広州	100%	弁ばね、リングギアほか
	広州	100%	弁ばね用材料（販売拠点）
	佛山	25%	弁ばね用材料
	天津	100%	リングギア
	深圳	100%	プリンター用ローラー、 光通信部品ほか
	香港	100%	
タイ	チョンブリ県	100%	弁ばね、リングギア シートベルト用ぜんまいばね プリンター用ローラーほか
ベトナム	ハノイ	100%	プリンター用ローラーほか
韓国	梁山	49%	シートベルト用ぜんまいばね材料
フィリピン	マニラ	100%	HDD用サスペンション（駐在員事務所）

# AGENDA



I. 会社概要

II. 2022年3月期 決算概要

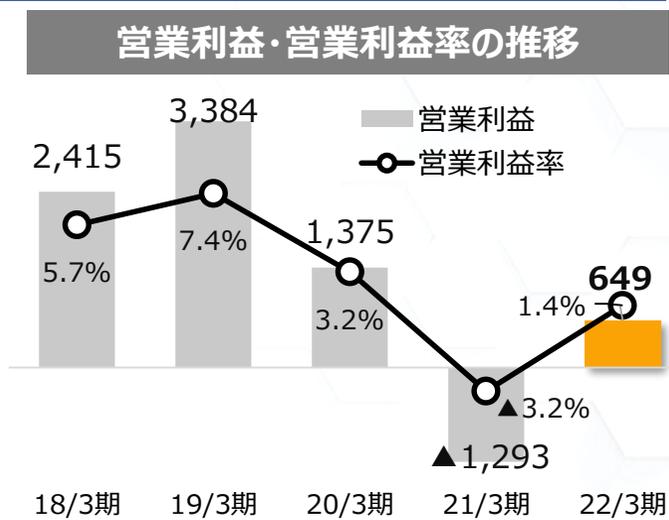
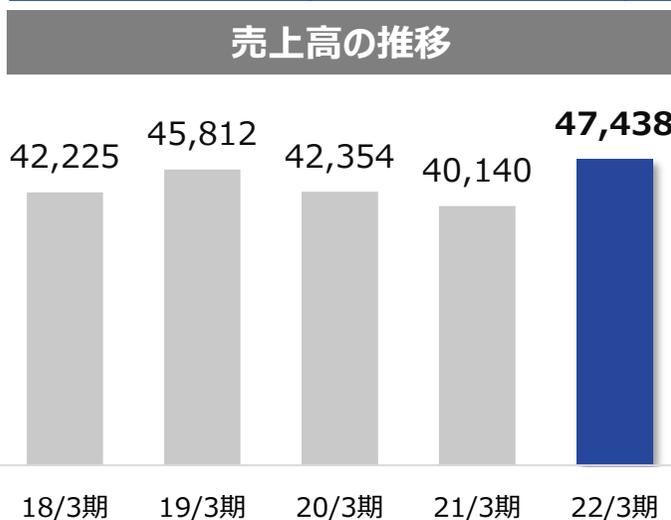
III. 2023年3月期 業績見通し

IV. 中長期の成長戦略

世界的な半導体不足や新型コロナ変異種拡大に伴う部品不足による自動車減産の影響を受けるも

**前期比 売上+7,298百万円 / 営業利益+1,942百万円 の増収増益**

単位：百万円	2021年3月期		2022年3月期	
	実績	実績	前期比	
売上高	40,140	<b>47,438</b>	+7,298	+18.2%
営業利益	▲1,293	<b>649</b>	+1,942	-
経常利益	▲1,000	<b>1,022</b>	+2,023	-
当期純利益	61	<b>904</b>	+843	+1,482%
EPS	1.95円	29.34円		

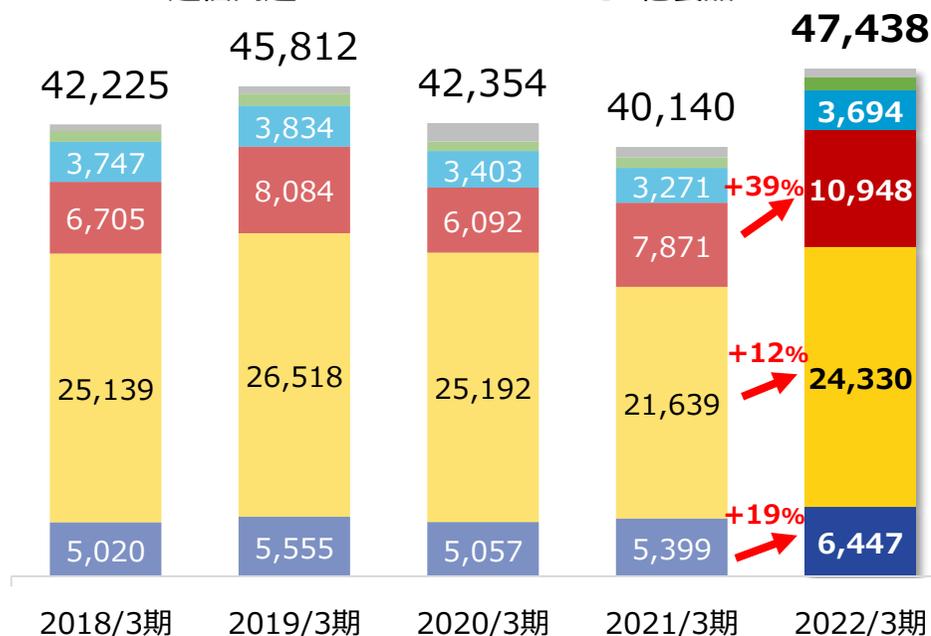


◆ 自動車分野	材料関連 自動車関連	前年の新型コロナウイルス感染拡大の影響から大幅回復 前年比+3,738百万円増収
◆ 電子情報通信分野	HDD用 サスペンション	データセンター向け投資増に伴う高水準の需要が継続 前期比+3,765百万円増収

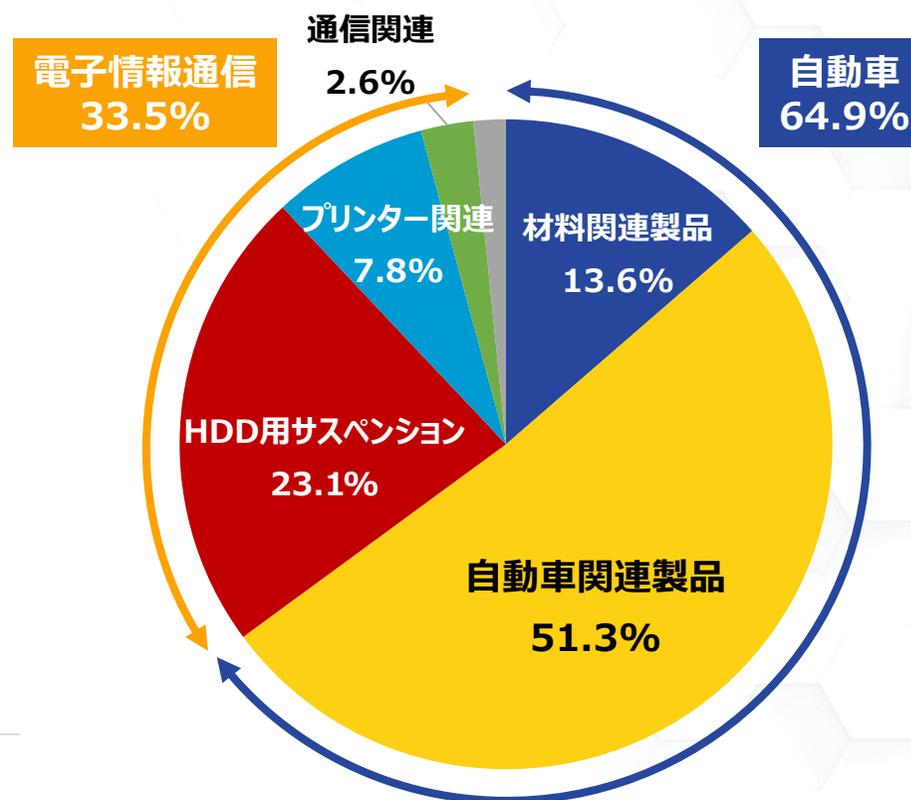
## 製品区分別売上高の推移

単位：百万円

- 材料関連製品
- HDD用サスペンション
- 通信関連
- 自動車関連製品
- プリンター関連
- その他製品



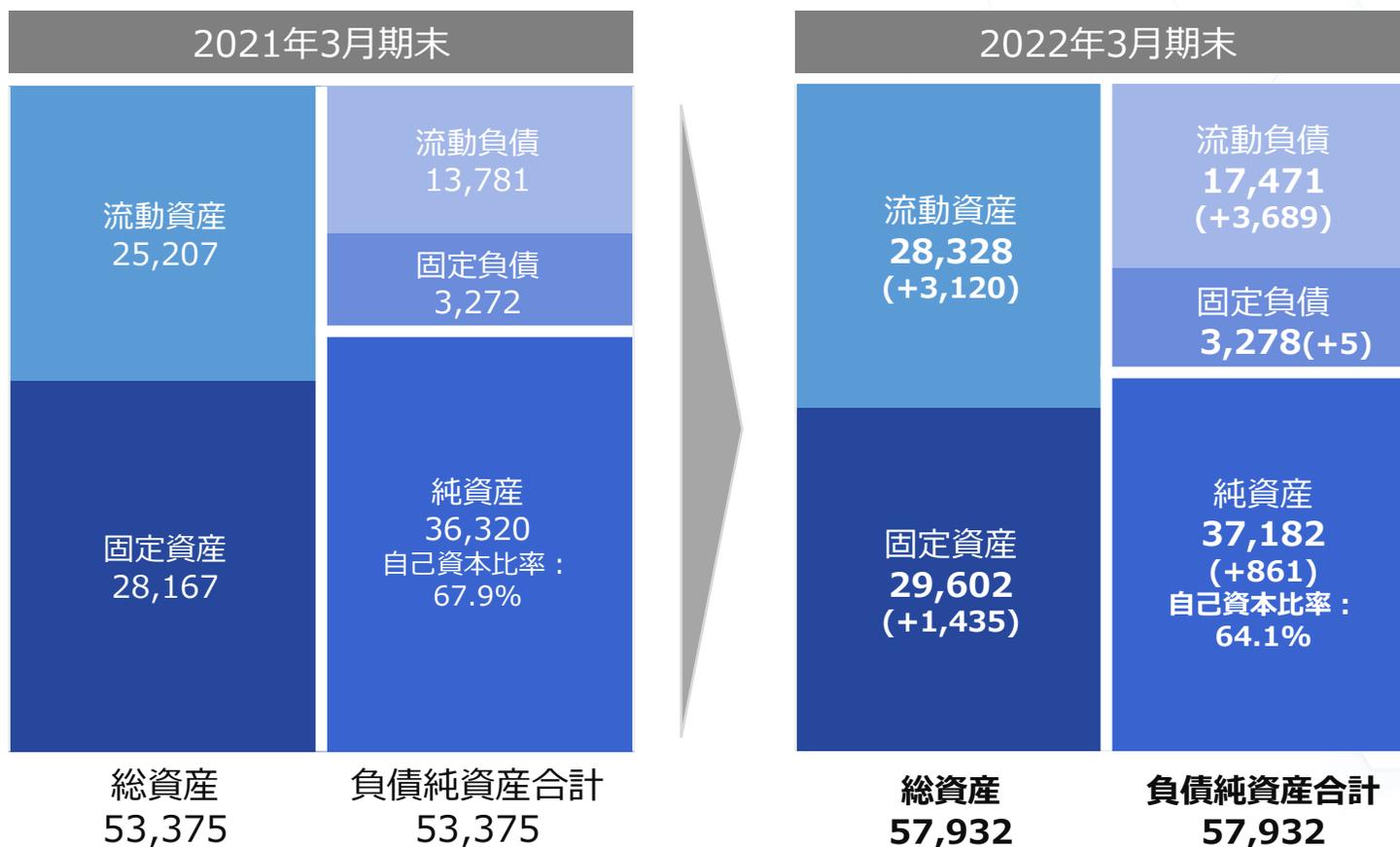
## 売上構成比



# 2022年3月期 連結貸借対照表

◆固定資産増加	HDD用サスペンションおよび重点戦略製品への積極的な投資により有形固定資産+977百万円
◆流動負債	短期借入金+3,456百万円、買掛金+1,100百万円、未払金▲696百万円
◆純資産増加	当期純利益+904百万円、配当金▲625百万円、為替換算調整勘定+930百万円 自己株式(公開買付他)の増加▲692百万円

単位：百万円



# AGENDA



I. 会社概要

II. 2022年3月期 決算概要

**III. 2023年3月期 業績見通し**

IV. 中長期の成長戦略

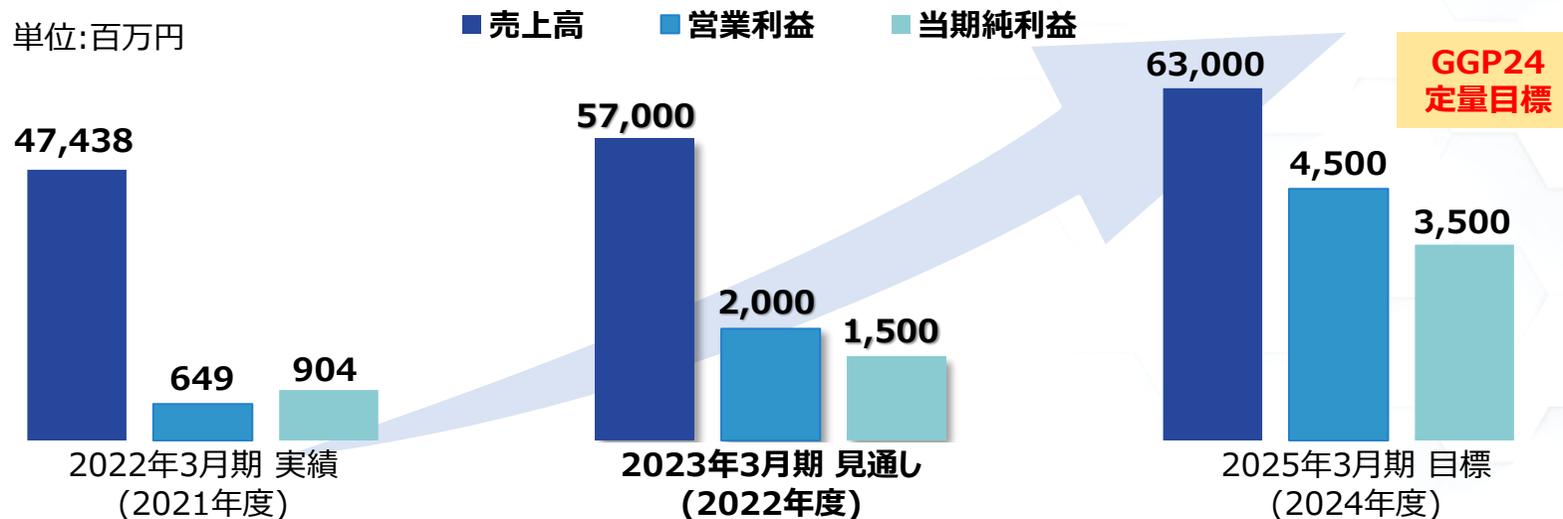
自動車分野の更なる回復 / HDD用サスペンションの需要増加 / 次世代事業の育成

## 先行投資分野の確実な収益化を図り、着実な利益成長へ

**売上高** **57,000百万円** 前期比：+9,562百万円(+20.2%)

**営業利益** **2,000百万円** 前期比：+1,351百万円

**当期純利益** **1,500百万円** 前期比：+596百万円

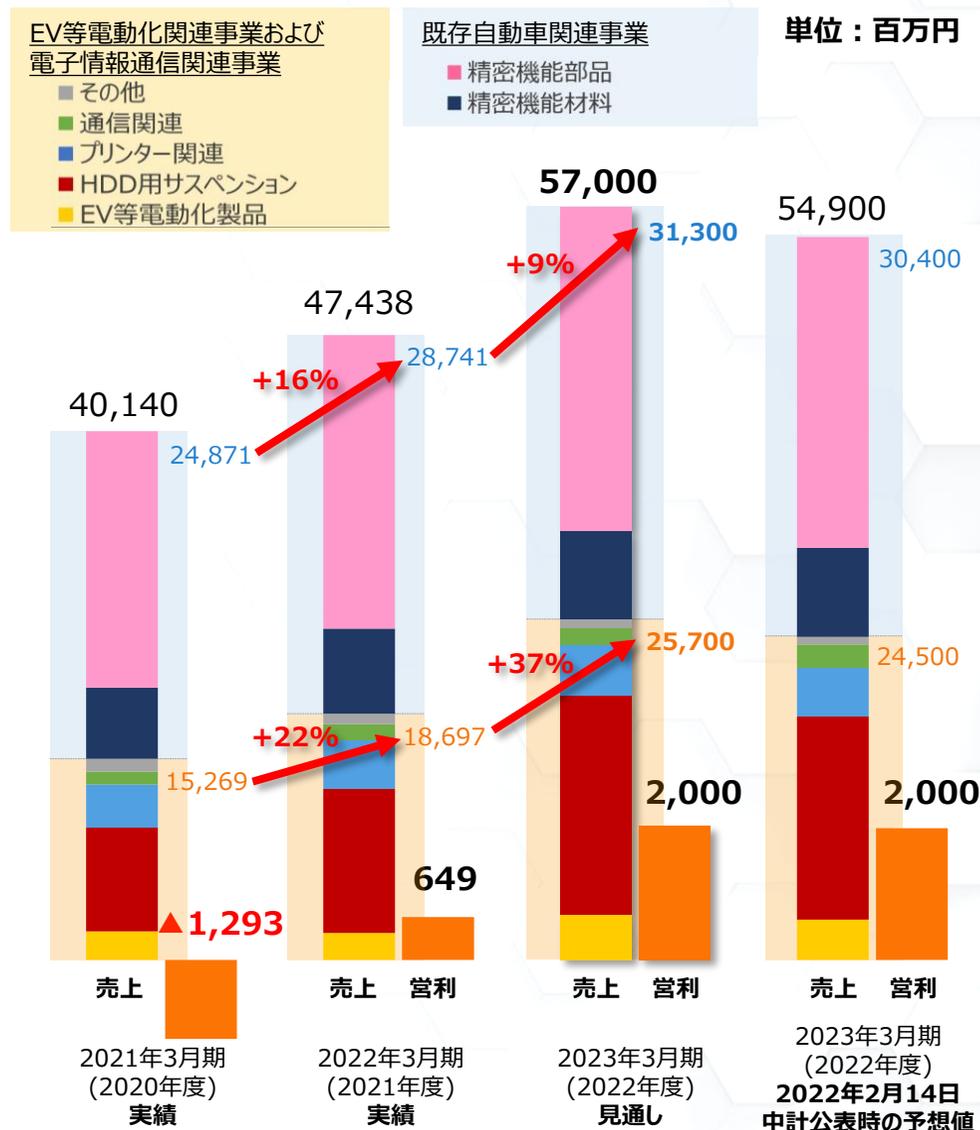


## ◆EV等電動化関連事業及び 電子情報通信関連事業

- 電動車向けバスバーの国内自動車メーカー2社採用に加え、今後他車種への展開を推進
- EV車への量産供給開始済みシャントバスバーについては、高精度電流検出用のシャントセンサーと合わせて欧州・中国・米国での拡販活動を展開
- サスペンション事業は、IoTの拡大や映像データの蓄積などデータセンター向けニアラインドライブ大容量ハードディスクドライブ（HDD）の高い需要に伴い売上拡大

## ◆既存自動車関連事業

- 既存事業（主力のエンジンやミッション系精密機能部品で構成）は現状の売上規模を維持しつつ、鋼材価格高騰の価格転嫁遅れはあるが収益性改善を推進



中期経営計画GPP24資本戦略

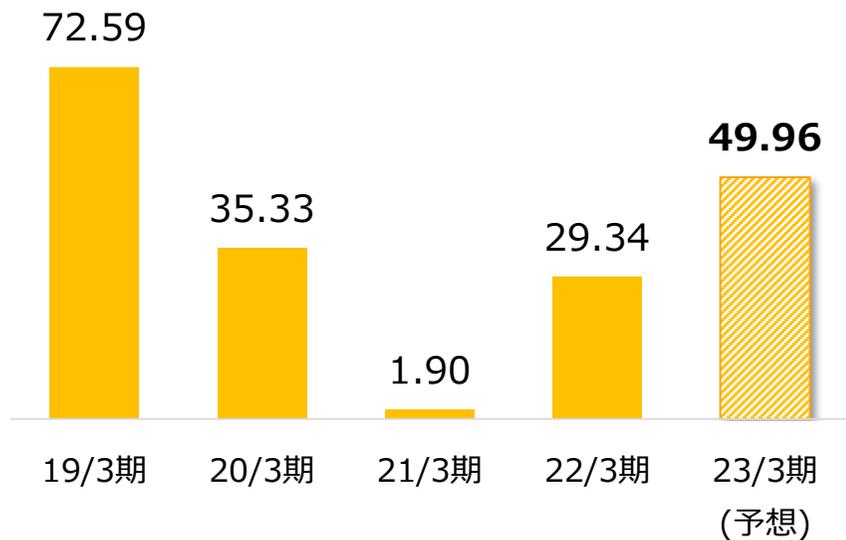
最適な資本構成を意識したBSマネジメントの推進

配当方針

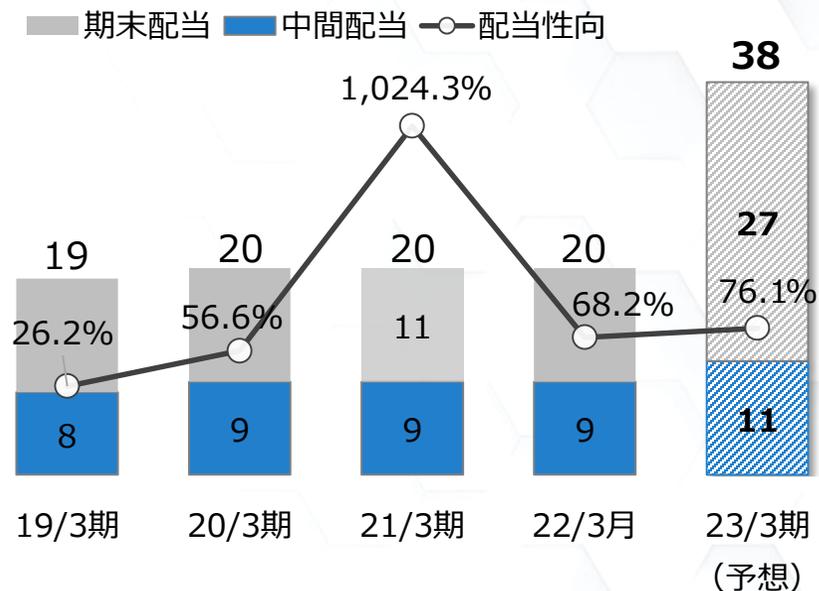
ROE9.0%を超過するまで配当性向を75%とする

※配当下限20円は継続

EPSの推移



一株当たり配当金(円)・配当性向の推移



※今後業績予想が修正される場合、配当方針に基づき修正されることとなります。

# AGENDA



I. 会社概要

II. 2022年3月期 決算概要

III. 2023年3月期 業績見通し

**IV. 中長期の成長戦略**



## 2030年の事業ポートフォリオ確立に向けた実効的な戦略の加速

### 事業戦略

#### EV等電動化関連成長事業 －グローバルに売上拡大・次世代主力事業へ－

- ・ 電動車ニーズに応えるべく「バスバー」、「シャントバスバー」の量産拡大
- ・ EV等電動化製品の欧州・中国・米国での拡販の展開

#### 電子情報通信関連成長事業 －飛躍的成長の実現・利益成長の追求－

- ・ 顧客需要への対応に向けた設備投資継続と生産効率向上
- ・ 大容量ハードディスクドライブの需要に応えるべくサスペンションの生産能力強化
- ・ 通信関連/プリンター関連は製品開発、工法改善を通じ、生産効率を向上させる

#### 自動車関連既存事業 －産業構造の変化に対応・収益力改善－

- ・ 製品別に市場成長性と収益性を検証
- ・ 徹底的な製品別収支管理により、既存案件の収益力改善に注力
- ・ 生産・営業拠点の最適化を検討

### 資本戦略

## 最適な資本構成を意識したBSマネジメントの推進

- ・ ROE9%を超過するまでは配当性向75%を維持し、自己資本の積み増しを抑制
- ・ 資本コストを意識した投資判断の徹底

GGP24定量目標

売上高  
**630億円**

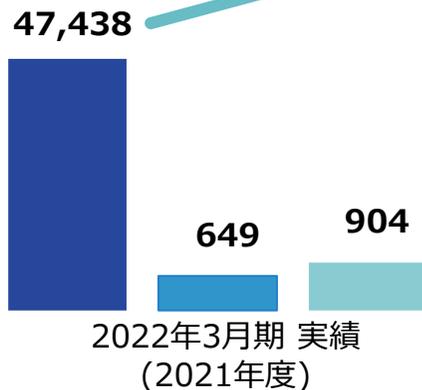
営業利益率  
**7.1%**

ROE  
**9.0%**

2021年度

実績

単位:百万円



2024年度

## Global Growth Plan 2024

2030年の事業ポートフォリオ確立に向けた実効的な戦略の加速

変化から成長へ

- 売上高 630億円
- 営業利益率 7.1%
- 安定的にROE9.0%を超過する為に資本収益性とBSマネジメントを意識した経営を推進
- 事業ポートフォリオ改革の始動
- 成長分野への大胆な経営資源投入
- 投下資本の確実な回収

2030年度

事業ポートフォリオの最適化を追求

- 関連技術の応用と新規事業
- 付加価値の創出

63,000

4,500

3,500

2025年3月期 目標  
(2024年度)

2031年3月期 目標  
(2030年度)

■ 売上高

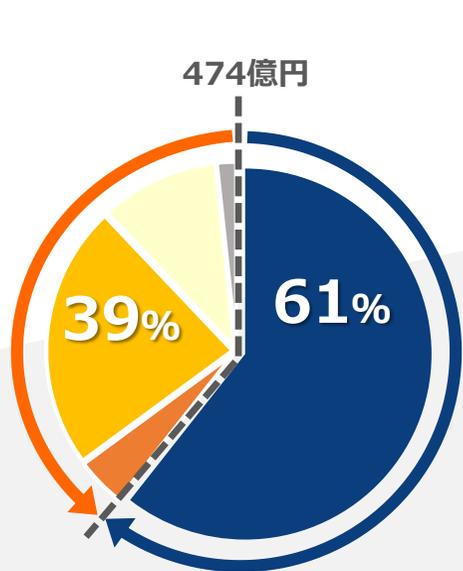
■ 営業利益

■ 当期純利益

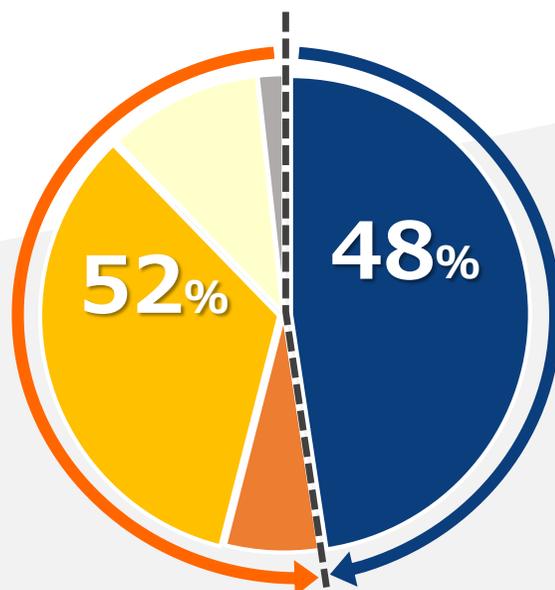
## EV等電動化関連成長事業および 電子情報通信関連成長事業



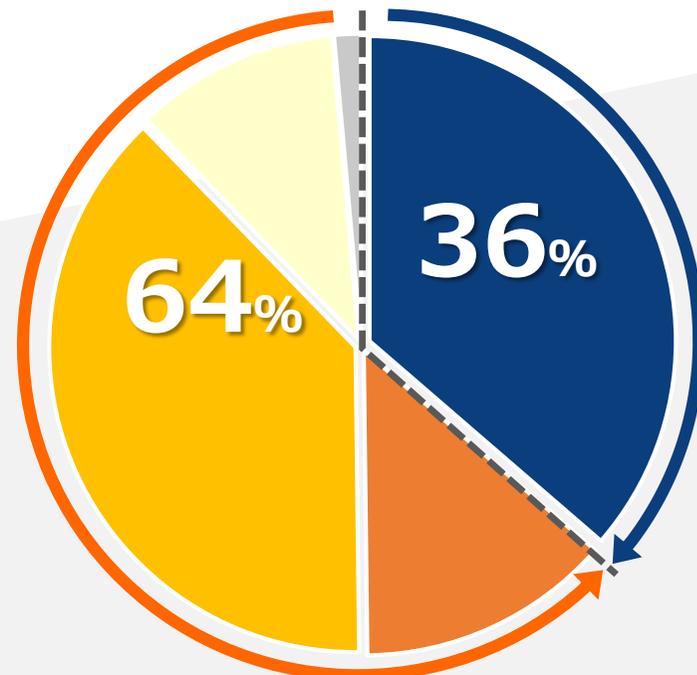
## 自動車関連既存事業



2021年度実績



2024年度目標



2030年度目標

※割合は対売上高

「材料から製品までの一貫生産」守り続けた技術から  
新たな領域を目指します。>>>>

溶接 曲げ



ダイス成型



圧延

精密塑性加工技術

■5G・IOT化により拡大する  
データ社会への対応

光通信事業  
HDD用サスペンション事業

■気候変動への対応

バスバー事業  
電流センサー事業  
車載LED事業  
竹炭サステナブル事業

■高齢化社会への貢献

リハビリロボット事業  
超音波センサ(開発)

## ◆ サンコールグループのマテリアリティ(重要課題)

		当社の取り組み		SDGsとの関連性
生物多様性	価値創造に繋がるマテリアリティ	気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源循環対応、環境に配慮したモノづくり</li> <li>技術の開発・応用による課題の解決 EV製品、竹炭応用品の開発・提供によるCNへの貢献 環境負荷を低減する製造ラインの採用</li> </ul>	
		安心できる社会生活への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社製品における自動車事故時のリスク低減</li> <li>社会とのコミュニケーションの促進、地域との共存</li> <li>すべてのステークホルダーの人権に配慮した事業活動を推進</li> </ul>	
		高齢化社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行支援ロボット等を通じた人生100年世代の貢献</li> </ul>	
事業継続性	事業継続の基盤のためのマテリアリティ	多様な人材の登用	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な人材が活躍できる環境の提供 (ダイバーシティ&amp;インクルージョン)</li> <li>2022年度中に「くるみん」の採用を目指す</li> </ul>	
		人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>各国の労働環境整備</li> <li>柔軟な発想や高い知識・技術・技能をもつ人材の育成</li> <li>働きがいのある最適職場環境作りを実践</li> </ul>	
		持続的成長を支える企業経営の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーポレートガバナンスの充実</li> <li>コンプライアンス・リスクマネジメントの徹底</li> </ul>	

サンコール電子情報通信分野の柱。クラウドストレージ容量需要の大幅な伸びに対して、ニアライン向けHDDの需要は今後も増加。

クラウドストレージの世界市場は5G・IoT・DXの進展によって爆発的な成長が見込まれます。

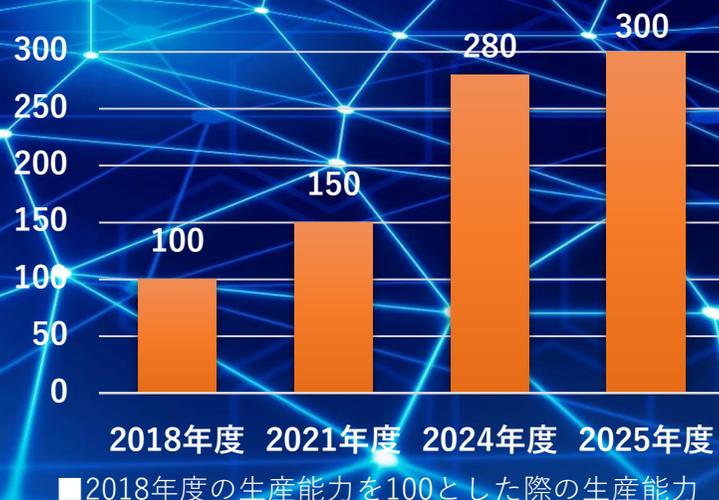
2021年度 売上100億円超 達成  
生産能力を2021年度対比 約2倍に増強する計画



データストレージの容量需要推移



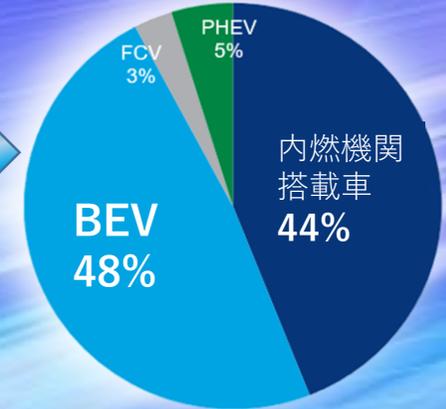
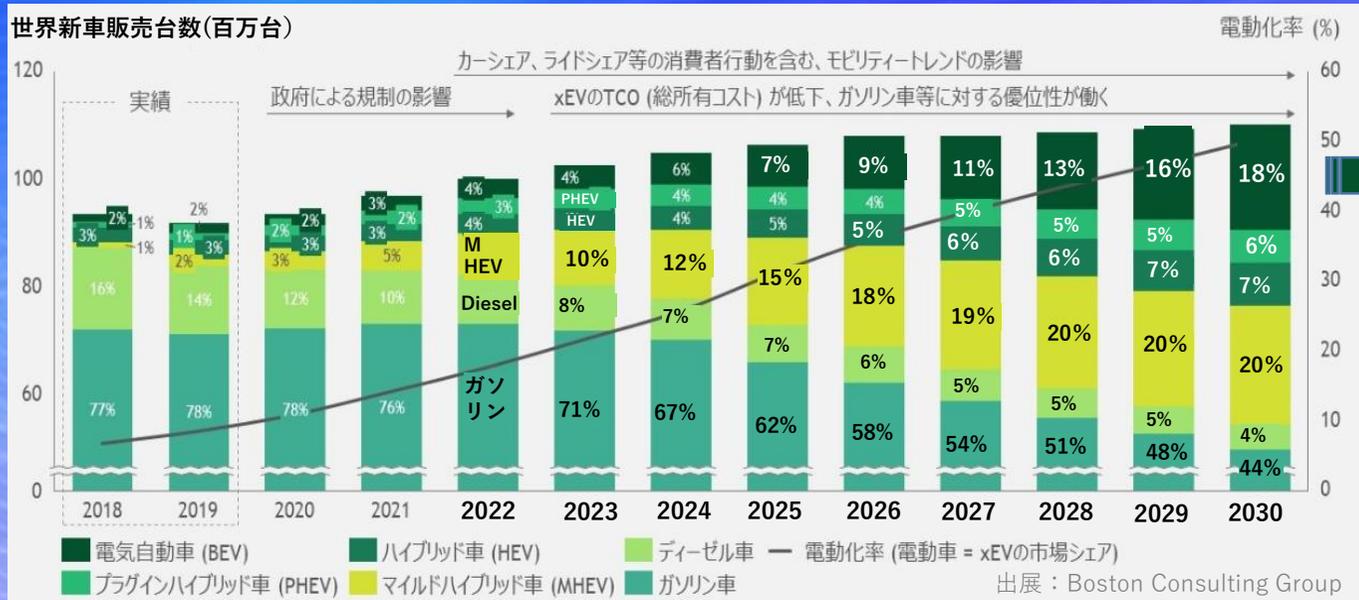
ニアラインドライブHDDの当社生産能力計画



## 2050年、EV化の世界に向けて

©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

電動車のシェアは急速に拡大している



Global vehicle sales  
 2050年自動車グローバル市場予測  
 ※Report by wood Mackenzie

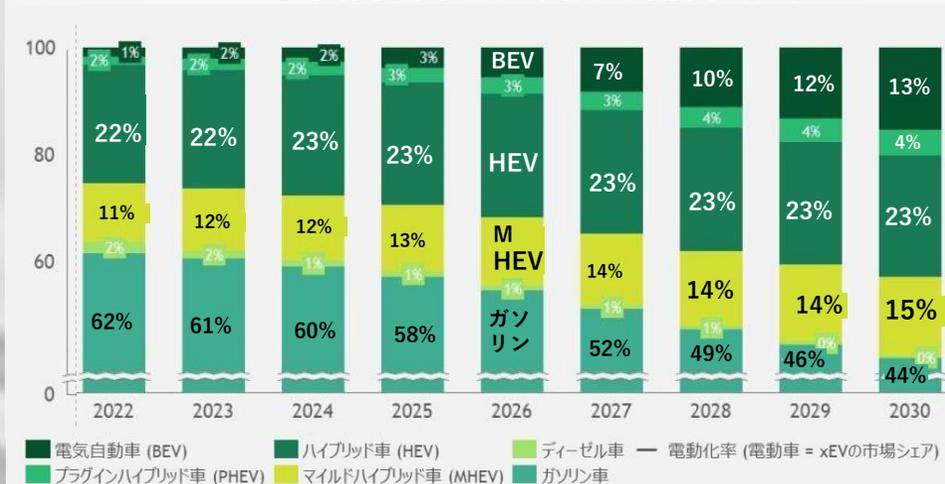
- ✓ 2021年 BEV+PHEV販売台数は、前年比2倍の2021年で660万台(IEA調査報告)。
- ✓ 2025年 電動車の販売台数が、全体の30%に達する。
- ✓ 2030年 電動車の割合が全体の50%を超える。
- ✓ 2050年 BEV販売台数は、48%へ。バッテリー駆動式が圧倒的多数となる。

参考記事: 700 million electric vehicles will be on the roads by 2050, (2021 Feb 08)



2013年量産開始。国産ハイブリッド車を支えてきたEV事業の柱です。

～2030年 国内新車販売台数の割合 (%)



日本ではハイブリッドは引き続きシェアを維持する

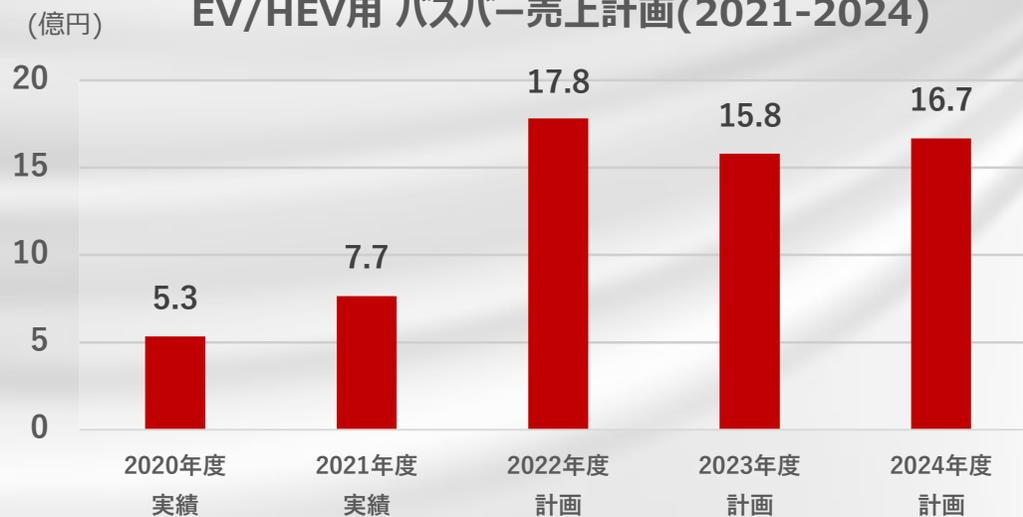
日本での新車販売台数における電動車の割合は、2025年までに40%を超え、2030年に55%となると見込んでいます。

日本では、ハイブリッド車 (HEV) のシェアが2019年時点ですでに22%を占めており、2030年でも23%と引き続きシェアを維持すると予測されています (世界では2030年に7%)

バスバー売上  
2022年 17億円規模

2022年度から国内自動車メーカー2社 (EV・HEV車)へ 新規品 量産採用

EV/HEV用 バスバー売上計画(2021-2024)



欧州・米国・中国。電動化の進む海外EV車での採用で急加速。

# EV



# 発電



電動車(EV,HEV,BEV)  
2019年～国内向けHVトラック  
2021年～欧州EVレース車  
2021年～北米EV乗用車

メガソーラー・風力発電など蓄電池  
2019年～NITE大型蓄電試験施設  
2020年～太陽光発電蓄電池システム

# 産業機器



産業機器  
2017年～国内向け電動フォークリフト  
2017年～米国向けフォークリフト  
2020年～欧州向けAGV(自動搬送機)



## EV先進地域でのグローバル戦略の基盤を固めます。

2023年新拠点へライン増設  
生産能力1.8倍へ増強



# 北米

9月 北米展示会  
2023年 営業事務所開設  
(構想中)

# 中国

2020年 SGT(サンコール広州貿易会社)へ  
シャント拡販事務所設置

## 2023年5億円規模

- ・ 中国・欧州・北米での拠点整備
- ・ 京都南工場にてIATF16949取得
- ・ 新ライン増設へ2.5億円投資
- ・ 伊藤忠商事・伊藤忠丸紅鉄鋼とグローバル連携

# 欧州

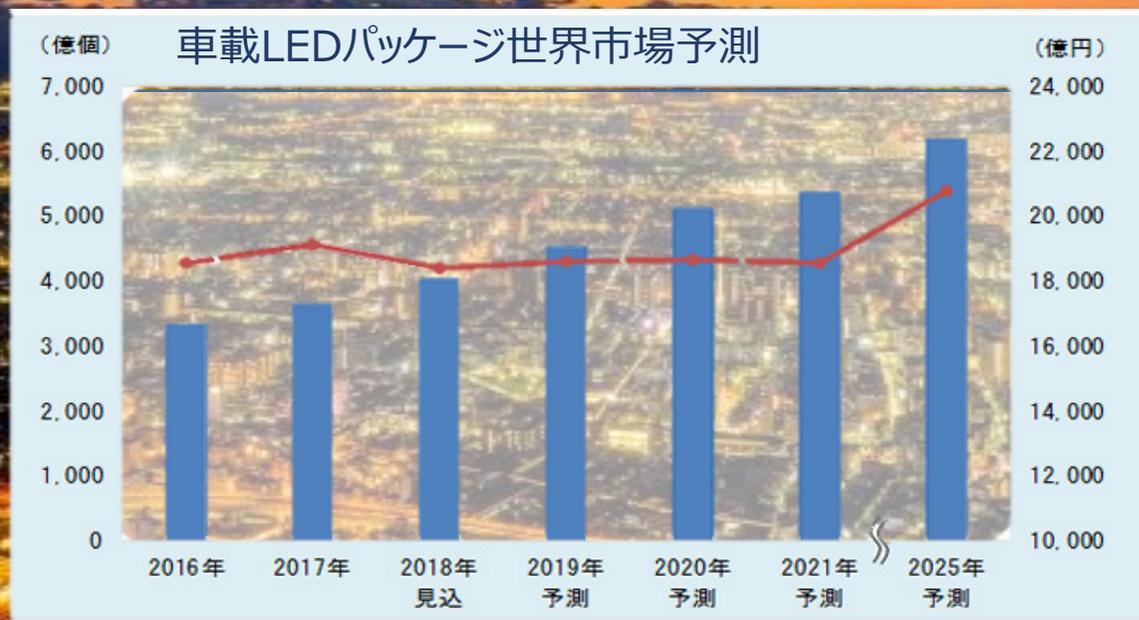
2022年  
6月 Battery show出展  
10月-ドイツへ営業事務所  
設立(下期検討中)

2021年から量産開始した新事業。LEDの小型・薄型化実現に寄与。

自動車分野におけるLEDは、近年急速に普及しており、すでに高級車や一般大衆車のみならず、新興市場向け車両でも採用が進みつつあります。



- 車載LED基板の量産化成功
- 2023年売上見込み 7億円



## ■カーボン・フィクセーション(炭素固定化)をめざして

車載インパネ(インストルメンタルパネル)塗料・内装品タッチパネル事業から更なるアプリケーションへ

京都産のこだわり	竹害の解決	CO2排出の少ない クリーンプロセス	安定品質	カーボン フィクセーション
✓天橋立の地、宮津市の竹をつかった『京かぐや炭』ブランド。 ✓京都で育ち、京都の企業の手で、京都で加工される、まさにMade in Kyoto	✓放置竹林は深刻な環境問題です。広葉樹を侵食し、土砂災害をまねくなど、周囲の生態系に悪影響	✓加熱水蒸気を利用し、工程でのCO2排出が少ないクリーンな製造方法 ✓電気特性、漆黒性・遮光性などを精密にコントロール ✓工業製品としての安定品質を確保	✓製品に混ぜ込むことで、CO2を吸収した竹を固定化(FIX) ✓カーボンニュートラルよりも一歩すすんだ考え方	



文科省COIプロジェクトのひとつとして、京都大学と共同研究開発した歩行学習支援ロボット。

2020年に介護機器モデルとして発売されて以来、全国のリハビリテーション施設だけでなく、老人ホーム等介護施設で採用され、好評をいただいています。

装着イメージ

◇軽量化モデル・医療機器モデルを開発中。  
歩きたい、という願いを取りこぼさない。



当社品を使ったリハビリの様様



■ 世界初、距離と方位の同時検知できる空中超音波センサーを開発中。  
より安心安全な社会へ。

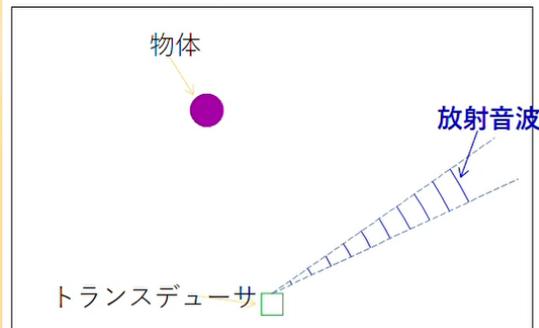
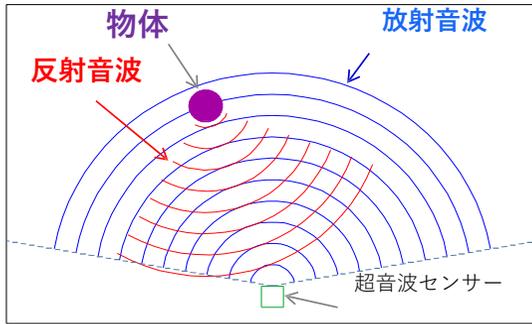


従来品 広範囲に音波を放射。物体がこの範囲のどこに位置するかわからない



サンコール 開発品 物体までの距離と同時に物体のある方向が特定できる

現行複数のセンサーを1つでまかなえる！



圧電素子実装技術 + 振動制御技術



サンコール独自の新規構造

■ 超音波センサーの市場規模は、車載で約1500億円。FA/PA用途90億円。新しい領域をひらきます。



## 【ご注意】

本日の説明資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。

